

# とよきた

やる気 がんばり 思いやり  
学校だより 第2号 R7.5.16  
宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホームページ QRコード  
が-版でご覧になれます

## 授業参観・学級懇談会 & PTA 総会

4月25日(金)、「第1回授業参観・学級懇談会」を実施しました。



子供たちは、気持ちも新たにはりきって学習に取り組んでいて、話をよく聴き積極的に発言したり、タブレットを活用しながら楽しく活動したりしていました。また、見守る保護者の皆様の眼差しも優しく、温かな雰囲気の中で授業が展開されていました。

学級懇談会では、担任と保護者の皆様との顔合わせができ、「学年・学級経営方針」や子供たちの様子をお伝えすることができました。

続いて、「PTA 総会」(書面総会)は、Google Meet の活用により各教室をつないで開催し、事前に賛否の回答をいただいた「令和6年度事業・会計報告」、「令和7年度事業計画・予算案」について承認された旨、報告がありました。また、役員の変更もあり、新執行部が誕生しました。

最後に、文化・スポーツ少年団の各団体より活動報告と共に、「まずは見学から。」と、参加の呼び掛けがありました。保護者の皆様、地域の皆様、一年間よろしくお願ひいたします。



## 田植え (オープンスクール)

5月14日(水)、晴天の下、田植を「とよき田んぼ」(昨年命名)で実施しました。



田植は、子供たちが楽しみにしている本校の恒例行事で、前半は1・4・6年生、後半は2・3・5年生の「なかよし班」で活動を行いました。また、今年は、この行事を「オープンスクール」として位置づけ、保護者・地域の皆様に公開し、広くご参観いただきました。



初めに、稲作ボランティアの高橋栄一様から「水田の働き」の話をしていただきました。絵や図を提示しながら分かり易く説明していただき、子供たちも興味津々で聞き入っていました。



続いて、田植の体験です。植える苗は、5年生が4月に「粳まき」の活動で蒔いた「きぬはなもち」の種が育ったものです。



田に足を踏み入れる時には、「冷たい」「気持ちいい」「足が抜けない」などの声が聞かれ、土の感触を確かめながら、皆、ニコニコ顔でした。



また、1年生は、田植えデビューです。お兄さん・お姉さんに手を引かれたり、「ゆっくりね」「慌てないでね」と声を掛けられたりしながら、慎重に一歩一歩足を運んでいました。



田植が始まると、皆、真剣です。腰を落とし、印に狙いを定めて、一株ずつ丁寧に苗を植えていました。稲作ボランティアの方々からも、「まっすぐ植えられたね。」「じょうず、じょうず。」など、お褒めの言葉をいただきながら、無事、作業を終え、子供たちは、とても満足そうでした。



このような体験は、地元の角山伸一様のご厚意で田を提供していただくと共に、相馬幸夫様に管理していただくなど、地元の方々に支えられて成り立っており、心より感謝申し上げます。



植えた苗が美味しい「もち米」に育っていくことを楽しみにしながら、日々、成長を見守ってまいります。



### 児童の感想

- ☆ 田植を行っている学校が減っている中、ぼくたちは、6年間、貴重な田植の体験をすることができ、とても感謝しています。【6年男子】
- ☆ 今年は、上手に植えられました。また、お姉さんが泥だらけの私の足をいっしょに洗ってくれて、とってもきれいになりました。【2年女子】

## 大空に舞う鯉のぼり

4月28日(月)は生憎の曇り空でしたが、豊北小恒例の7歳の「鯉のぼり」が元気に泳ぎ始めました。

業間休みに、「これから鯉のぼりを揚げます！」の校内放送が流れると、子供たちが大集合。

「ジュウ、キュウ、ハチ、ナナ……サンニ、イチ、ゼロ。」カウントダウンの中一気に鯉のぼりを揚げると、子供たちの歓声と共に、大空に舞い上がる鯉のぼり。見上げる子供たちの表情は、皆、満面の笑顔でした。



この鯉のぼりは、児童の入学や進級を祝うと共に、子供たちに健やかに育ててもらいたいという願いを込め、地域の方々から寄贈していただいたもので、今年もまた、豊北小の184名に、元気と勇気を送ってくれました。



## 子どもフェスタ in 文化の森

5月5日(月・祝)「こどもの日」、快晴のもと、「子どもフェスタ in 文化の森」が、うつのみや文化の森で開催され、たくさんの催し物でにぎわいました。

その中で、豊郷北小は「輪投げコーナー」を担当し、PTA 役員の皆様や「北のおやじ会」の方々が準備・運営にあたりました。訪れた子供たちが次々に輪投げに挑戦し、入るたびに拍手や鳴り物を鳴らしながら「うまい」「やった」と賞賛したり、入らなくても「おいしい」「ドンマイ」と励ましの声を掛けたりしながら、場を盛り上げていました。



参加した子供たちも、ゲットした賞品を嬉しそうに持ち帰っていました。

早朝から準備・運営、そして、片付けに携わってくださったスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

## 第3期「あいさつ広げ隊」結成！

4月24日(木)、「宇都宮で1番・あいさつで1番」を目指して、一昨年度に立ち上げた

「あいさつ広げ隊」の第3期結成式を実施しました。

今年の広げ隊のメンバーは、各クラス3~4名が選出され、昨年からの継続9名と新規21名の計30名で構成され、3年目を迎え、計78名の隊員が誕生しました。

結成式では、校長から一人一人に任命書が手渡された後、本校のあいさつの合言葉「**あ**かるく、**い**つも、**さ**きに、**つ**づけて」を確認しました。また、今年度は特に、「地域に広げよう あいさつの輪！」を隊員同士の



合言葉とし、地域における積極的なあいさつを実践課題としました。さらに、留意事項として、あくまでも自分が実践している姿を通して「あいさつの輪」を広げていき、他の児童にあいさつを強要しないことを再確認しました。最後に、隊長・副隊長を選出し、荒木心晴隊長、杉原颯太副隊長・大井亘副隊長・吉田紗菜副隊長を中心に、活動を展開することとなりました。学校や家庭、地域に、自然な形で一人また一人と「あいさつの輪」が広がっていくことを期待しています。



## 子ども見守り活動

本校では、秋山サト子交通指導員様・亀田祥子交通指導員様を始め防犯ボランティアの皆様など、地域の皆様より、子供たちの安全・安心のため、長年、見守り活動にご尽力をいただいています。また、保護者の皆様も交代で登下校の立哨指導をし、児童の安全確保に努めてくださっています。中には、「自身の健康のためにもなるから。」と、子供たちと一緒に歩いてくださる方もおられ、頭が下がる思いです。



児童とは、「自分の時間を割いて見守ってくださっているボランティアの方々へ感謝の思いをもち、『安全な登下校』と『心を含めたあいさつ』を実践すること」を約束し合っています。

子ども見守り活動をしてくださるボランティアの皆様、一年間よろしくお願ひいたします。



## 2025「とよきた 運動会」に向けて！

5月24日(土)開催の運動会に向け、練習が本格化しています。

今年は、「仲間と全力で！一瞬が忘れられない宝物！」(作：鈴木柑奈さん)のスローガンを掲げ、各色の応援団長・副団長を中心に、熱のこもった練習を日々重ねています。

紅組団長の加藤葵さんが「運動会を通して紅白分け隔てなく絆を強めよう！」と述べれば、白組団長の杉原颯太さんも「どんなに負けていても絶対に諦めず奇跡を起こそう！」と呼び掛け、互いに気合十分です。暑さ等を考慮し、今年も午前中のみ開催となりますが、応援合戦やダンス、玉入れや綱引き、リレー等、一つ一つの種目に、仲間と共に全力で取り組み、一人



一人が金の思い出を刻み、生涯の「宝物」となる運動会にしてまいります。子供たちが目を輝かせながら精一杯がんばる姿を、是非ご覧ください。

また、今年も、玉入れには、本校の卒業生(中学生)や「北のおやじ会」を始めとする保護者の方々にも参加を呼びかけますので、奮ってのご参加をお願いいたします。

皆様と共に歴史に残る 2025「とよきた運動会」が開催できますよう、ご協力を何卒よろしくお願ひいたします。

## 張り切る 団長・副団長

